

学術雑誌総合目録和文編の確認調査

1. 確認調査の日程及び調査内容

データ提出締切りから1年2カ月にわたってセンター内で編集作業を行ってまいりました学術雑誌総合目録和文編データベースは第1次のデータ反映が終了し、7万件近い書誌、145万件の所蔵を有するデータベースになりました。データ提出にご協力いただいた各参加館にあらためてお礼申し上げます。

さて、前号でもお知らせいたしましたようにいよいよ確認調査を実施いたします。調査期間は、平成3年7月22日(月)～平成3年8月31日(土) とさせていただきます。

今回の調査は、お送りする所蔵エラーリストに基づいて所蔵データの確認及び修正をしていただくことが中心となります。

エラーリストは、書誌のVLYRをもとに作成したチェック用の巻年次データによって所蔵データの範囲チェックを行った結果のリストです。今回の全国調査で報告いただいた情報からデータを確定いたしました。所蔵データと不整合が生じていないか確認をお願いいたします。特に変遷関係がある書誌について所蔵データが変遷前後の一方の書誌にのみリンクされている可能性が高いのでご注意ください。

2. オンライン作業の取扱い

オンラインによる更新及び新規入力については、確認調査期間中であっても、これまでどおり入力していただけます。

ただし、以前からお願いしておりますように書誌レコードの「削除予定レコード」処理は、確認調査時のデータとの不整合を発生させてしまいますので、新規に作成した書誌レコードが作成直後に重複書誌であることが判明した場合以外には処理を行わないよう、よろしくをお願いいたします。「削除予定レコード」としなければならない重複書誌については「目録情報に関する質問書」に画面のコピーと情報源のコピーを添えて雑誌目録情報係までご報告くださるようお願いいたします。

なお、書誌レコードの作成及び修正を行った場合や変遷関係のリンク形成が必要な場合には、前号でも触れていますが、必ず入力画面のハードコピーや変遷注記用データシートを添えて、入力の情報源となった箇所が明示されているコピーをお送りください。

目録・所在情報データベース 500万件突破

NACSIS-CATの図書の所蔵レコード件数が、5月22日(水)に500万件を突破しました。最初のレコード(昭和60年7月)から5年10カ月目に達成しました。

記念すべきレコードを作成した図書館は東京大学文学部と国立歴史民俗博物館です。

東京大学文学部は、"The imaginary view scenes of Antonio Canaletto,1974"という米国の学位論文の新規書誌を作成し所蔵を付けたものでした。また、国立歴史民俗博物館は、「石川啄木と北原白秋:思想と詩語(有精堂、1989刊)」に所蔵を追加したものでした。

500万件目及びその前後(38秒間)の入力館は下表のとおりです。

カウント	入力時刻	所蔵ID	書誌ID	参加組織	入 力 館
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
4,999,990	14:11:37	CD0041096120	BN0624164X	FA006678	明治大学
4,999,991	14:11:38	CC0027129286	BA05087123	FA006838	神奈川工科大学
4,999,991	14:11:38	CC0027128851	BA12210219	FA004923	青山学院大学
4,999,993	14:11:48	CD0041096299	BN05407394	FA007615	京都精華大学
4,999,993	14:11:48	CD0041096266	BN05666687	FA012218	京都産業大学
4,999,995	14:11:51	CD0041096073	BN04588067	FA005380	上智大学
4,999,996	14:11:55	CD0041096255	BN0032992X	FA008913	福岡大学
4,999,997	14:11:56	CC0027129377	BA10699027	FA001798	東京大学
4,999,998	14:11:58	CD0041096197	BN0090410X	FA001368	岩手大学
4,999,999	14:11:59	CC0027129355	BA12200554	FA007670	同志社大学
5,000,000	14:12:00	CC0027128975	BA12210387	FA011758	東京大学文学部
5,000,000	14:12:00	CD0041096095	BN03916160	FA009235	国立歴史民俗博物館
5,000,002	14:12:01	CD0041096211	BN03285773	FA003341	鳴門教育大学
5,000,002	14:12:01	CD0041096313	BN00630365	FA007615	京都精華大学
5,000,004	14:12:05	CC0027129162	BA11607137	FA002870	大阪大学
5,000,005	14:12:07	CC0027129399	BA12210660	FA012193	国立天文台
5,000,006	14:12:09	CC0027129322	BA10062256	FA002586	滋賀大学
5,000,007	14:12:12	CD0041096222	BN02036638	FA003319	徳島大学
5,000,008	14:12:13	CC0027129402	BA0025068X	FA002247	福井医科大学
5,000,009	14:12:15	CD0041096379	BN03967773	FA002440	名古屋大学
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮

USMARC(Music, Visual Materials, Maps) のサービス 開始

5月31日より、非図書資料のMARCであるUSMARC(Music)、同 (Visual Materials)、同 (Maps) の提供を開始しました(オンライン・ニュース画面で既報)。これらのMARCは、これまでの「洋図書書誌参照ファイル(LC)」とは別のファイルにまとめて格納されます。

この新しい参照ファイルの概要、および参照ファイルの追加に伴うオンラインシステムの変更は、以下のとおりです。

1) ファイル名: LCX

検索キーフィールド"FILE"、もしくは、SEARCHコマンドでファイル指定を行うときは、"LCX" と入力します。

(例1) 書誌検索画面でファイルを指定する場合

```
洋図書書誌検索・簡略表示
>:
TITLE= SYMPHONY
AUTH = MOZART
AKEY :          ISBN:          NBN:          LCCN:
PUB  =
PLACE=          CNTRY:   LANG:          YEAR:
SH   =
WORDS=
ID   :
FILE : LCX
```

(例2) SEARCHコマンドでファイルを指定する場合

```
>: SEARCH OTHN=MHS4848 AND FILE=LCX
```

2) ファイルの自動検索の順序

参照ファイルが1つ増えたことにより、自動検索の順序は以下のとおりとなります。



3) ファイルの内容

このファイルには3種類のMARCが格納されています。各MARCの収録対象資料、および、現在、LCXファイルに格納されているレコード数等は下表のとおりです。

MARC名称	収録対象資料	収録年次	書誌レコード数
--------	--------	------	---------

USMARC (Music)	楽譜、録音資料 (レコード、CD カセットテープ 等)	1984 ~	49,689
USMARC (Visual Materials)	映像資料 (映画、ビデオ テープ、スライ ド等)	1984 ~	32,275
USMARC (Maps)	地図資料	1984 ~	68,165
	計		150,129

なお、今回格納していない1983年以前のVisual materials、Mapsのレコードについては、後日、格納する予定です。

4) フォーマット変換上の特長

USMARC FORMAT で提供される上記3つのMARCは、目録システムのレコードフォーマットに変換されたのち、参照ファイルLCX に格納されます。変換仕様は従来の「洋図書書誌参照ファイル(LC)」とほぼ同じですが、以下の点が異なります。

1 「著者名+タイトル」形の統一書名標目が音楽作品名に限って使用可能となったため、統一書名標目 (UTL フィールド) の部分の変換はそれに対応する仕様になっている。

(例)

UTL: Mahler, Gustav, 1860-1911 -- Symphonies, no. 6, A minor <>

2 資料の特性に関する事項に対応するフィールドが、目録システムには存在しないので、NOTEフィールドに所定のリテラルを付して変換している。

(例1) 楽譜の場合

NOTE: MUSIC: In full score

(例2) 地図資料の場合

NOTE: CARTOGRAPHIC MATERIALS: Scale 1:18,000

*目録規則 (AACR2) の該当章の章だての語句を付して、一番最初のNOTEフィールドに変換している

3 書誌検索上役立つ、標準番号に準ずる番号等をOTHNフィールドに変換している。

(例1) 録音資料の場合

OTHN: LANO: PV2811

*"LANO"は録音資料の発行者番号 (レーベル番号等) に対する「番号の種類コード」。詳細は本号付録「目録システム・コーディングマニュアル」を参照。

以下に、LCXの書誌レコードの一例を示します。

洋図書書誌詳細表示	LCX	1/	1
>			
<G100058377> RECST:n			
GMD:c SMD:z YEAR:1982 1962 CTRY:us TILL: TXTL: ORGL: REPRO:			
VOL: ISBN:0306760851 PRICE: LCCN:82771112			
TR: Sonaten und Partiten fur Violine allein : facsimile of autograph / Johann			

Sebastian Bach ; Nachwort by Gunter Hausswald ; with translation by Marie
Stolba
PUB:New York : Da Capo Press , 1982
PHYS:83 p. of music : 23 cm
NOTE:Reprint. Originally published: Frankfurt, West Germany : Insel-Verlag, 1962
With new English translation of the Nachwort
PTBL:Da Capo Press music reprint series <>//a
AL:*Bach, Johann Sebastian, 1685-1750 <>
UTL:*Bach, Johann Sebastian, 1685-1750 -- Sonaten und Partiten, violin, BWV 1001
-1006 <>
CLS:LCC:ML96.5
SH:LCSH:Bach, Johann Sebastian, 1685-1750 -- Manuscripts -- Facsimiles//A
SH:LCSH:Music -- Manuscripts -- Facsimiles//K
SH:LCSH:Sonatas (Violin)//K
SH:LCSH:Suites (Violin)//K
REM:001: 82771112 /M¥008:841211r19821962nyuszn n 1 ¥039:0 \$a2\$b3
\$c3\$d3\$e3¥050:0 \$b.B

ILLシステムの概要

ILLシステムについては、既に「学術情報センターニュース」No.15(1991.3)において開発原案をご紹介したとおり、平成4年度からの運用開始を目指して開発を進めているところです。このILLシステムは目録システムと類似の機能を多く持ち、既存のソフトウェア(UIP)とほぼ同様の仕様により目録システム接続館での利用が実現するものです。このたびセンターでは各UIP開発担当会社に対してILLシステムの概要を通知し、各接続館から要求があった場合の円滑な対応を依頼しました。

については、ここに[通知事項](#)を掲載しますので、ローカルシステムで対応する場合のご参考にしてください。ILLシステムはセンター機能のみでも基本的な業務の遂行は可能ですが、大量受付館で一括処理が必要な場合や、ローカルシステムの予算管理システムとリンクを図る等の場合は、各接続館での機能追加が必要になると思われる。

なお、仕様については基本方針の変更はありませんが、外部モニター等の結果、細部の変更が行われる場合もありますので予めご承知ください。この件について不明な点がありましたら、センター目録情報課専門・電子情報係(TEL03-3942-6987 FAX 03-3944-7131)までお問い合わせください。

総合目録委員会の審議結果(図書)

平成2年度総合目録委員会、同小委員会で承認された事項について、その概要をお知らせします。

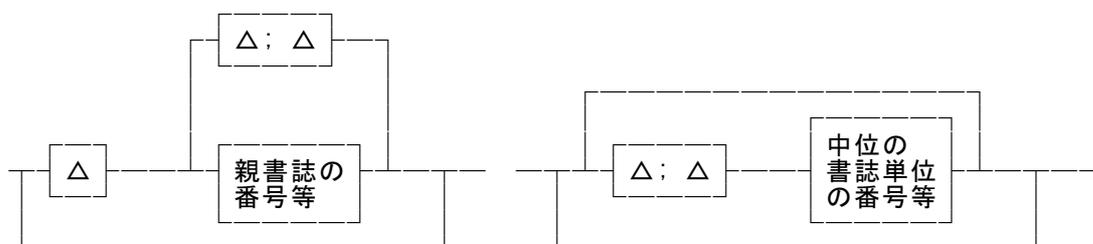
1 「目録情報の基準」の改訂事項

- ・ PTBLフィールドの「固有のタイトルでないもの」の記述

「目録情報の基準(改訂版)」 p. 33、p. 79 の例を以下のようにします。

PTBL: Handbuch der Orientalistik <14> 7. Abt. . Kunst und Archäologie ; 3. Bd. ; Innerasien ; 3. Abschnitt ; Tibet, Nepal, Mongolei ; 2 Lfg. . The arts of Nepal ; Pt. 2//bb
--

「目録情報の基準(改訂版)」では、Innerasien、Tibet, Nepal, Mongoleiを「固有のタイトルでないもの」としていますが、記述例では区切り記号"△.△"を付し、中位の書誌単位のタイトルとして記述されていました。この点について、多くの参加組織から疑義が寄せられました。そこで、上記の例のように、「固有のタイトルでないもの」が連続する場合の区切り記号を"△;△"とします。



2 その他の登録上の懸案事項

1) 「固有のタイトルでないもの」に関わる書誌の修正

「基準」の改訂により、「固有のタイトルでないもの」の扱いが旧版より明確になった点があります。

- (例) ・ 「小説」「詩歌」...等の形式区分をあらわす名称は、旧版では特に具体的に言及されていなかったが、改訂版では「固有のタイトルでないもの」として具体的に列挙されている
- ・ 別個の著者等を持つ部編名は、書誌単位とする

このため、旧版の下で作成された書誌の中には、改訂版に従うとレコード作成単位の変更が必要になるものがあります。

「固有のタイトル」に関する改訂版の適用について、旧版に照らせば正しく、修正を

行わなくとも特に問題がない書誌もすべて修正しなければならないのかという質問が寄せられました。

書誌レコード作成単位の変更により、所蔵レコードの付替作業が必要になります。その作業を行う参加組織の負担を考慮し、以下のようにします。

ア 改訂版「目録情報の基準」に従い修正を行うもの

- ・ 改訂前後にわたって継続中の多巻もので、書誌構造の整合性が損なわれていると判断されるもの(例:「固有の標題でないもの」の表に該当するものが、改訂の前後で書誌単位・出版物理単位というように異なる扱いがされている)
- ・ 書誌構造の捉え方の相違により重複書誌となっているもの
- ・ その他、重大な問題があるもの

イ 原則として修正を行わないもの

- ・ すでに完結している多巻もので、上記のような問題がないもの

なお、書誌レコード作成単位の変更が伴う修正 (VOLフィールドの追加、子書誌の作成) 等は、従前どおり、書誌作成館と協議の上行い、所蔵の付け替えの連絡を忘れずをお願いします。

2) 音楽作品名の統一書名標目の構成要素・作成単位

ア 標目の構成要素

AACR2の統一タイトルの章で規定している標目の構成要素のうち、下記のものを採用します。

タイトル(または楽曲形式名),演奏手段,数の識別要素(逐次番号・作品番号・主題目録番号等),調,その他の識別要素,部編番号,部編名・部分のタイトル,編曲表示,歌曲譜・歌詞等の表示

これまでの統一書名典拠の運用に準じ、次のものは標目の構成要素とせず、UTLフィールドの「その他の情報」として記録します。

歌詞等の言語,出版年等(同一タイトルの異なる作品を識別するために付記する場合を除く)

(例) UTL: Schubert, Franz, 1797-1828 -- Nocturne, piano trio, D. 897, E♭ major <...> 1979

イ レコード作成単位

統一書名典拠レコードは、無著者名古典・聖典の1著作(ここでいう著作には聖典の部篇も含む)に対し1レコードを作成することになっています。

音楽作品についても、基本的には上記の原則に従うことにしますが、多くの内容作品を持つものについては、

- a) UTL フィールドの繰り返し可能回数等に物理的な制限がある (30回が上限) ため、個々の内容作品に対してUTL フィールドを作成できない場合もある

- b) 上記の場合も、集合タイトルを適用することによって、ジャンル等による限定は可能である

点を考慮し、例外的に集合タイトルを認めることにします。

(例)モーツァルトのピアノソナタ選集

UTL: Mozart, Wolfgang Amadeus, 1756-1791 -- Sonatas, piano.
Selections

3) 複数の出版物理単位からなる単行書誌単位の記述、および記述の情報源

現在、集合書誌単位、逐次刊行物に対して定められている基準に準じ、以下のようになります。

- a) 原則として初巻による(初巻がないときは手元にある最初の巻による)
- b) 書誌の同定の支障になるので、TRフィールド等は初巻と他の巻の表示を合成し
記述しない。
- c) 初巻と異なる他の巻の情報は、注記する。
- d) 初巻を記述の根拠としなかったときは、必要に応じて、記述の情報源とした巻
次等を注記する。

以上については、既にニュースレターNo. 27の「目録システムに関する最近の質問書から」でお知らせしてあります。

4) レコード修正指針

共有レコード(書誌レコード、典拠レコード)の修正について、
ア どのような修正ならば行ってもよいのか
イ どのような修正を行う場合、所蔵館への連絡、レコード作成館への確認が必要
なのか

等の点について、参加組織より指針を示してほしいという声があります。

- そこで、
ア 慎重に修正しうるもの
(レコード作成館等への確認、所蔵館への連絡が不要なもの)
イ 各参加組織の点検・確証作業が必要なもの
(レコード作成館等への確認、所蔵館への連絡が必要なもの)

の2つに分け指針を示すことについて提案し、承認されました。

現在、その内容の細部を検討中です。まとめ次第、コーディングマニュアルとして刊行する予定です。

5) 親書誌における並列標題の取扱い

親書誌において、並列標題の有無、本標題-並列標題の選択の相違から別書誌レコードが作成されている事例に関し、

- ア 並列標題の有無、本標題-並列標題の選択の相違のみでは別書誌作成の根拠と

ならない

イ 親書誌の標題は初巻、若しくは入手できるもののうち最初の巻のものを採用する旨確認されました。

6) 音楽作品名の統一書名標目が準拠する規則

音楽作品名についても、日本名であればNCR87に従って標目形を決定しますが、NCR87の統一タイトルの章には、以下の例に挙げるような音楽作品名の標目に関する詳細な規定が存在しません。

- (例) 1 標目の構成要素(楽曲形式、演奏手段、作品番号... 等々)
- 2 標目の構成要素の区切り記号
- 3 タイトルの選定 等々

そこで、NCRにしたがって音楽作品名の統一書名標目を決定する際、NCR87で規定していない事項については、当面、必要に応じ音楽図書館協議会の「日本目録規則 音楽作品の統一タイトル(案)」を参照することにします。

3 今年度への持ち越し事項

以下の懸案事項については、今年度の総合目録委員会、小委員会で審議される予定です。

- 1) 非図書資料・複合媒体資料の書誌レコード作成単位
- 2) 親書誌に対応する「特殊な版表示」

データベース登録状況

総合目録データベース

平成3年5月30日現在

データベース名			件数
図書	和	書誌	511,576
		所蔵	2,925,937
	洋	書誌	1,056,109
		所蔵	2,122,003
雑誌	和	書誌	68,104
		所蔵	1,443,028
	洋	書誌	109,483
		所蔵	886,574
著者名典拠			471,416
統一書名典拠			1,057
和雑誌変遷マップ			5,846
洋雑誌変遷マップ			12,803

参照ファイル

平成3年5月30日現在

データベース名		件数	収録内容
参照LC	図書	3,581,030	1968年1月～最新分
	雑誌	489,042	1973年～最新分
	著者名典拠	2,284,987	1977年～最新分
	統一書名典拠	12,900	1977年～最新分
参照JP	図書	1,013,858	1969年～最新分
	雑誌	77,378	1988年～最新分
	著者名典拠	26,288	更新なし
参照UK	図書	1,166,931	1950年～最新分
参照TRC	図書	237,691	1985年4月～最新分
参照GPO	図書	281,068	1976年1月～最新分